

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	公的統計の整備に関する基本的な計画推進費		<b>担当部局庁</b>	総合環境政策局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度		<b>担当課室</b>	環境計画課企画調査室		企画調査室長 矢田 真司	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	9-4 環境情報の整備と提供・広報の充実			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	統計法第4条		<b>関係する計画、通知等</b>	公的統計の整備に関する基本的な計画			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	公的統計の整備に関する基本的な計画(平成21年3月13日閣議決定)では、「環境に関する統計の段階的な整備」として環境分野の統計の充実が求められており、その具体的取組の一つに、環境分野分析用の産業連関表の充実が位置付けられた。これを受け、経済活動と環境負荷との間にはどのような関係があるのかを定量的に明らかにすること等を目的として、環境分野分析用産業連関表(以下「環境IO」という。)を作成し、公表する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	平成23年度は有識者による検討会を開催し、環境IOの利活用のあり方や具体的な資源・環境負荷項目の選定、情報収集の対象とする公的統計の選定、推計方法等について検討を行い、平成23年度以降の環境IO整備のための「作成要領」を作成した。平成24年度以降の事業予定は以下のとおり。 平成24年度：作成要領に基づき、試行版として、総務省産業連関表の統合大分類に基づく平成17年版環境IOの作成を行う。 平成25年度：平成24年度の作業をベースに、総務省産業連関表の基本分類に基づく平成17年版環境IOの作成を行う。また、平成23年版産業連関表に対応するために必要な検討・調査等を行う。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	-	15	14	11	11
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	15	14	11	11	
	執行額	-	7	14	-	-	
執行率(%)	-	47%	100%	-	-		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本件事業は、環境分野分析用産業連関表の検討及び作成に係る業務であり、定量的な指標を以て成果を測定することは困難である。			成果実績	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本件事業は、環境分野分析用産業連関表の検討及び作成に係る業務であり、定量的な指標を以て活動を測定することは困難である。			活動実績(当初見込み)	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	1,400万円		算出根拠	本件業務の遂行に要した費用。			
<b>平成24・25年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	11	11	本格実装版の環境分野分析用産業連関表を整備するために、膨大なデータを入力が必要だったが、代わりにワーキンググループを開催しないこととし、検討会のみ行総費用を抑えた。			
計	11	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境IOは経済・環境に関する統合的な分析を可能とするものであり、グリーン経済・成長の実現に向けた取組の進捗状況等を把握する上で重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争方式により競争性は確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	業務全般の効率性の向上に努めており、予算の削減を行っている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<p>平成23年度の業務実施においては、有識者による検討会を開催し、平成24年度以降の環境IOの整備に向けた作成要領を作成する等、当初の予定どおりの目標を達成している。</p> <p>本件事業は、公的統計の整備に関する基本的な計画(平成21年3月13日閣議決定)において、環境分野分析用産業連関表の充実が求められていること及び国全体の公的統計の基盤整備を行うものであることから、国が主導して直接実施をする必要がある。</p> <p>以上から、引き続き、効率的かつ効果的に実施するとともに、本事業を一層推進していく。</p>
現状通り		平成25年度に本格実装版の環境分野分析用産業連関表を整備すべく、引き続き効率的な事業実施に努めてもらいたい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		本格実装版の環境分野分析用産業連関表を整備するために、膨大なデータを入力する必要があったが、代わりにワーキンググループを開催しないこととし、検討会のみ行うことで総費用の高騰を抑えた。	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	254

※平成23年度実績を記入

環境省  
14百万円



【企画競争・請負】

A.(株)三菱総合研究所  
14百万円

環境IOの作成の検討に必要な有識者による検討会の開催及び資料の作成等を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	株式会社三菱総合研究所	環境IOの作成の検討に必要な有識者による検討会の開催及び資料の作成等を行う。	14	5	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					